

(個別研修) 菊井 妙子

研修テーマ：①子供のリハビリや治療の実際について学ぶ

研修先：National Children's Hospital (ベトナム ハノイ)

研修日：6月19日～6月20日(最終日)

目的：①外来リハビリテーション部門に訪問し、治療の実際について学ぶ

内容

- ・外来リハビリテーションスタッフは 整形 Dr 8名(専門医)、PT 5名、OT 4名、ST 5名、電気治療士 1名である。訓練部門では、PT 室の他に OT 室、ST 室、電気治療室とも独自に訓練の部屋が分かれている。
- ・対象患者は脳性麻痺、二分脊椎、神経難病(筋萎縮症など)の患者が多い。
- ・約 15～20 日間、毎日リハビリを行う。(土・日を除く) その後にチームでカンファレンスを行い、継続治療の必要性や(他院でのリハビリか、自施設でのリハビリを継続するかなど) どのようなリハビリが必要なのか治療の評価・修正を行う。
- ・1回のリハビリ時間は30分であり、訓練に家族も立ち会ってもらう。リハビリ訓練を嫌がり泣き出す子供もいたが、バランスボールの使用や YouTube を使用し、少しでもリラックスできる環境作りとリハビリを楽しく、そして集中できるように心がけて行っているとのことであった。



PT 室: マットの上で四肢のマッサージや ROM 訓練を行い、その次に独立坐位や歩行器を使用した歩行訓練などを行う。広い部屋で患者一人ずつのリハビリが行われる。

電気治療室にある神経筋電気刺激機器筋肉や運動神経への電気刺激により、筋収縮を起こすことで筋力増強や筋萎縮の予防、痙縮抑制などを目的に治療が行われる。

